

委員会レポート

一般会計補正予算について

Q 公園安心利用推進委託料で、期限が決まっているが、事業を継続して行くのか。

A シルバー人材センターに委託して、今年の11月から来年の3月までの間を、まず一回目の雇用と考えている。来年度も同じような事業として考えているが、緊急雇用対策の中で補助を受けており、有効に利用する目的で当面は2年半という計画。

公共下水道事業について

Q 今後の供用開始に向け、今回の補正は。

A 来年3月31日の供用開始に向けて、受益者負担金、分担金等の納付書の用紙関係の準備と、現在ある上水道のOCR読み取り機を活用するため、受益者負担金・分担金を読み取ることができるシステムに変更する。

Q 今後、供用開始までのスケジュールは。

A 来年の1月から各地区に出向いて受益者負担金、分担金等の説明会をする。

決算特別委員会

平成20年度一般会計歳入歳出決算

Q 巡回バスの利用状況と、9月に見直をして、どのような声があるのか。

A 巡回バスの利用状況は、21年8月までは変化はないが、21年9月に小型化した後、立田ルートは少し増えて毎日30名前後。八開ルートは10数名であり変化はない。

改正後の乗客の声として、佐屋ルートの西保地区の途中で立田経由になり、佐屋老人福祉センターからの帰りが遅くなるなどの意見があり、経路途中の下車を検討していく。

Q 住宅用火災警報器普及状況は。

A 約2万1千世帯あり、1年間で、すべての家庭への実施は困難なので、毎年順次行っている。

その中で設置率は、平成18年度が7.7%、平成19年が17.5%、平成20年が37.3%と年々増加している。

Q 精神障害者小規模保護作業所運営補助を行っている施設は何施設か。他の作業所に行っている障害者の把握はしているのか。他の施設に通所している場合の補助制度はあるのか。

A 2カ所で、ゆったりホーム藤（津島市）と、ゆったりホーム桂（七宝町）。ゆったりホーム藤に2人通っている。他では、地域活動支援センターに通っている方もあり、事業所に対して補助をしている。

Q 少子化対策出産祝い金は。

A 第三子以降の出生に対し、出産祝い金15万円を支給。対象人数は73件。

Q 情報教育アドバイザー、AETの講師の配置状況と対象学年は。また、特別非常勤講師の各学校の配置状況は。

A 情報教育アドバイザーは、小中学校合わせて9名を配置している。対象学年は全学年で、担任とともにパソコン操作を教えている。

AETは、インタラクティブとクロイパーイングリッシュに委託し、小中学校へ6名を配置している。対象学年は全学年であり、担任とチームティーチングにより英語を指導している。

非常勤特別講師は市費において、福原分校を除く全校に1名配置している。チームティーチングにより少人数指導を行っている。小学校では算数、中学校では数学と理科の教科での活用が多い。

平成20年度水道事業決算

Q 平成20年度は赤字なのか黒字なのか。

A 八開と佐織地区を合わせて3千72万6千62円の純利益となっている。その内訳として八開地区で2千536万7千206円の利益、佐織地区で535万8千856円の利益となっている。

今後の見込みは、八開地区は21年度で一般会計の補助金もなくなる。20年度で約2千500万円の利益がでていたが、補助金は1千400万円で、差し引くと1千万円程の利益になる。

佐織地区は、浄水場の更新を平成9～12年度に行い、約10年経過しているため、機器類のバッテリー関係の取替えが必要になり、今後は少し損失になると思う。

Q なぜ、他会計から繰り入れしているのか。

A 一般会計からの補助金は、合併時に5年間は八開地区において段階的に補助をすると決定しており、平成21年度まで繰り入れることになっており、22年度からは補助金はなくなる。